



公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：かわの忠正 編集人：田村しんいちろう

令和3年 第2回 定例会 代表質問

安全・安心に暮らせる川崎へ —— 目の前のひとりを大切に ——

6月10日、春たかあき議員は代表質問に立ち、コロナウイルスワクチン接種が進むなか、感染症対策の強化をはじめ防災減災対策や町内会・自治会活動支援、女性への負担軽減など51項目について質問しました。



代表質問に立つ春たかあき議員

コロナ感染対策 充実した医療体制を築け!



新型コロナウイルス感染症の新規陽性者のうち自宅療養者への医療体制についてただしました。

市は「保健師からの電話、1日1回の自動音声電話やラインによる健康観察で確認をしている。体調悪化時には、緊急相談窓口

において24時間体制で対応している」と答弁。変異ウイルスに対応する医療体制については「コロナ陽性病床は最大278床あり、そのうち即応病床は194床を確保している。また後方支援病院の確保も進め、確保病床の最適化を図っている」と前向きな答弁がありました。

安全・安心のまちづくり 風水害対策を強化せよ!



令和元年台風第19号で甚大な被害があった排水樋管周辺地域の対策として、2基のポンプを配備するとしています。多摩川側から水圧がかかった状態での排水の担保とその裏付け、さらに設置完了まで6年間かかるため、その間の対策を求めました。

市は「多摩川の水位が計画高水位に達した場合でも、排水可能なポンプゲートで、他の自治体でも導入がある。短期対策のゲート操作などの訓練を継続するとともに、排水ポンプ用マンホールの設置や諏訪仮排水所の排水能力の向上など進めていく」と約束しました。

町内会・自治会活動支援 『補助制度』創設

公明党が平成30年から求めてきた「町内会・自治会活動応援補助金制度」が創設され、3億1800万円余が計上されました。小規模な町内会・自治会では、申請に不安の声もあり、手続き書類の簡素化やオンライン化など、申請がスムーズに進むよう丁寧な伴走支援の必要性を訴えました。

市は「補助金は確定払とし、申請書類の様式等を工夫する。さらにオンライン化も検討していく」と答弁。

加えて「各区での実務担当者向け説明会では、手引き等を活用し、丁寧に説明していく」と回答しました。



コロナ禍での 女性負担軽減を!

コロナ禍への対応として防災備蓄品の生理用品などの活用を提案しました。

市は「使用期限等を定め、備蓄物資のローリングストック(循環活用)による有効活用を進めながら、試験的な配布を検討する」と答弁。加えて、デジタル画面に広告などを表示する生理用品配布機を女性用個室トイレに設置し、生理用品を無償提供する民間事業者との連携も提案しました。

市は「導入可能施設のうち23施設121か所のトイレに設置希望があり、導入に向け民間活用調整委員会で審議を行う」と明らかにしました。



いちばん近くで、動く、働く

JR南武線連続立体交差事業 別線高架工法へ見直しを検討

市は昨年度、コロナ禍の影響等による今後の厳しい財政環境を見込み、JR南武線連続立体交差事業の都市計画決定を見送り、事業を再検討すると公表しました。

公明党は「事業の実施、継続を前提に、コストダウンや新たな手法を目指した再検討を」と一貫して要望。5月末、市は現行計画の「仮線高架工法」を見直し「事業費の縮減や事業期間の短縮、開かずの踏切の早期解消

が図られる」として、新たに「別線高架工法」を検討することを明らかにしました。また、並行して平間駅前踏切等の改善策を早期に検討するとしています。



代表質疑

子育て世帯生活支援特別給付金 対象者の把握と速やかな支給を!



田村しんいちろう議員

コロナ禍での子育て支援として、児童扶養手当を受給するひとり親世帯に加えて、住民税非課税の子育て世帯に、第2子以降も含め児童1人当たり5万円の給付が決定。18歳までの児童(障害がある場合は20歳未満)が対象です。

本市が把握していない中学卒業後の児童を養育する世帯や、新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した世帯への、丁寧な周知と迅速な支給を求めました。市は「あらゆる機会を通じて情報発信に努めていく」と答弁しました。

政策懇談会開催

7月に市内の31団体との政策懇談会を開催。ほかに10団体から書面での要望を受けました。子育て支援や福祉サービスの向上、景気・雇用対策等多くの要望をいただきましたので、今後は実現に向け、しっかりと取り組んでまいります。



お知らせ

新型コロナウイルスワクチン接種

- 対象者
12歳以上の希望する全ての方(無料)
- 新型コロナウイルスワクチン予約コールセンター
電話番号 0120-654-478 通話料無料
(携帯電話からも利用できます)
対応時間 午前8時30分から午後6時
(土・日曜、祝日も対応)
- 副反応コールセンター
新型コロナウイルスに関する一般的な相談も含め副反応に関する相談をお受けしています。
電話番号 044-200-0730
ファクス番号 044-200-3928
受付時間 24時間(土日・祝日含む)
- ワクチンロス防止「協力者バンク」登録
<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000129189.html>

学校トイレの洋式化令和4年度に完了!

令和4年度までに全ての学校トイレの洋式化と、校舎及び体育館への1か所以上の車椅子で使える多目的トイレの新設、トイレ内の手洗い場の自動水栓化が完了します。既に改修工事を終えた学校の児童生徒からは喜びの声が上がっています!



給水スポット導入実証事業 ～令和5年3月まで～



マイボトルに、冷たい飲料水を給水できるウォーターサーバーがこども文化センター等の公共施設に試験的に設置されます。市内の家庭から出る年間約2億本(市民1人あたり約150本)のペットボトルを減らすためです。
マイボトルで環境にやさしい行動を実践しましょう!